



2022年 10月7日 金曜日
(令和4年)

きょうは何の日

盗難防止の日



技の創造 ものづくりの大学究

▷83◁

皆さんは、D2C(Direct to Consumer)という言葉(ワイパーパーカー)が日本で
 葉巻の時代があるとしても若い世代を中心に支持を集
 うか?」D2Cとは「Direct to Consumer」(オルバー
 ber)消費者に直接届けます」などが挙げられます。
 の略で、米圏を中心に流行が、ではこれらの製品ジャンル
 始まっている新しい製品の販売は既に多くの製造者が古くか
 売消費の動向です。D2Cは製品を供給しているにもか
 ブランドの特徴は原則小売店、かわらず、なぜこうした新興
 を介せずに、製造者が自社のブランドが誕生し消費者の
 ウェブサイトから直接消費者に支持を集めているのでし
 うに販売する形態にあります。か、その背景にあるのは交流
 「D2Cを代表するブランド」サイト(SNS)の存在や
 だ(では寝具の「Caspar」ステイナビリティ(持続可
 er)キャスパー)「眼鏡の 能性」意識の普及にあると考
 「Warby Parker せられます。

「インスタグラム」などの 消費者はそれを試着してSNS
 SNSの普及は、自分の持ち SNS投稿し、その反応を見て
 物を世界中の多くの人に見て、自分に似合う眼鏡を選ぶ。と
 もらう機会を生み出しました。いったん新しい消費のスタイル
 た。それに従い、高価な物を を生み出しました。
 自慢するのではなく「自分分り」そしてオルバーパーズのス
 しい「物を買った後、廃棄されるまでの二酸化炭素 けの製品開発は「小品種、大
 ース、そして物を買った後、廃棄されるまでの二酸化炭素 けの製品開発は「小品種、大

町田 由徳 教養教育センター 准教授
情報メカトロニクス学科

D2C時代のものづくり

はそれを選んだ「確かな理由」(CO₂排出量を製品ごとに公 量生産」から「中品種、中量
 付け」が欲しいというニーズ、表し、消費者ができるだけ環 生産」、さらに「多品種、少
 が消費者から求められるよう 境負荷の少ない製品を選択で、量生産」の潮流へ向かってい
 になりました。
 それに対し、例えば前述の 製品を購入し消費する以上、
 「ワイパーパーカー」は無償 地球環境に対して何らかの悪
 で5日間、5種類の試着用眼 影響を与えることは避けられ
 鏡を消費者の自宅に送り、ま ませんが、このサステイナビ



また、D2Cの 東京造形大学デザイン学科卒業後、デ
 ザイン事務所勤務、岡崎女子短期大学准教授等を経て、20
 20年より現職。専門はプロダクトデザイン。

科学技術の進歩に対する理解
 力が足りないと言われてき
 ました。しかし「これからの
 のづくりに求められるのは、
 「多品種、少量生産」の製品
 文理の枠を超え消費者の行
 動、ニーズを理解した上で、
 最新の科学技術の進歩を享受
 デザインに落とし込むユーザ
 ーリサーチ技術の研究や、サ
 スティナビリティに配慮し
 た素材を活用したデザイン
 の研究が必要で、また少量生
 産に適した新しい生産プロセ
 スの研究、あるいは手作りの
 プロセスによるものづくりの
 復権が考えられます。
 従来一理系は人間の行動に
 対する想像力が弱く、文系は
 開き期待した。